

「研修テキスト出版」協議 東京事務所 閉鎖を検討

パチンコ依存に関する電話相談を中心に活動するNPO法人、リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）は4月1日、東京・市ヶ谷の遊技会館で第11回理事会を開いた。西村直之代表理事は「カジノ関連の法案提出などで、依存問題に関わる講演などの活動が多くなり、電話相談以外の業務が増えている。同じ理由で心配する家族からの相談も増加した。厚労省研究班の依存症が536万人という数字が独り歩きして問題になっているが、根拠が提示されていないし疑問がある。しかし、パチンコ業界はそれに反論するよりも、依存問題でいま何をやっているか社会に分かってもらう努力が大切だ」と話した。

RSNは、昨年5月東京事務所を開設したが、依存問題対策で協力活動、講演、啓発活動などで本来のアセスメント事業を活かさない状況になっており、維持経費等と合わせて考え閉鎖を検討することになった。ただ、RSNとして



新しい事業計画などを協議したリカバリーサポート・ネットワーク理事会

今後のために都内に拠点は確保したいとしている。

2015年度の新しい事業として取り組む予定のプロジェクトについて協議された。遊技産業からの要請が多い依存に関する「研修プログラム」と「研修テキスト」を従業員研修のために作成し出版する構想だが、事業化する場合収益事業にもなるため別組織の会社を設立した方がいいという意見が多

かった。

安高真弓理事が日本学術振興会特別研究員に就き兼任できないため理事を辞任したが、今後は無給でRSNスタッフとなり、理事会にも出席することになった。理事重任の届出を怠り1万円の過料を支払ったこと、役員報酬規程の一部訂正、謝金等支払規定の制定などが報告された。

奥村遊機株が破産

中古機流通で確認発信

老舗のパチンコ機メーカー、奥村遊機株(名古屋市)が4月14日、名古屋地裁に自己破産を申請し、破産手続き開始決定を受けた。負債額71億5400万円。

同社は1947年創業、57年に奥村遊機株を設立した。89年ごろ「ドリームW」「ドリームX」が爆発的ヒット、その後も「CRうる星やつら」などのヒット商品がある。近年はパチンコ客離れ、ホール減少などマイナスの外因が続ぎ、ヒット商品にも恵まれなかった。

中古機流通協議会は4月15日、「奥村遊機株製ばちんこ機の中古機流通について」と題するお知らせ

せを構成6団体に発信した。これによると、同社製遊技機の中古機流通の取り扱いについて協議し、警察庁保安課の指導を仰いだ結果「中古機流通健全化要綱に基づく運用をすることで差しさわりのない」との指導を得たとしている。

移動設置後は、営業所の管理者が責任を持って当該遊技機の保守・管理に努めるとともに、部品の交換が必要な故障等が発生した場合、速やかに当該遊技機を撤去することとしている。

PSIO・不正対策室会議

一般から583件

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は4月16日、日遊協本部会議室で委員ら14人が出席して開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2015年3月のPSIOオーナーネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は620件。業界から37件、一般ファンから583件の入力があり、2014年3月と比べると83件減(2014年3月703件)となった。



闇スロ撲滅等の議論があったセキュリティ対策委員会

セキュリティ対策委員会 罰則の必要性を検討 闇スロ流出

第85回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は4月8日、日遊協本部会議室で開かれた。

闇スロ撲滅の取組みについて議論された。とくに一部のホールが在庫遊技機を闇スロ店に流出させていることについて、罰則を伴ったルールづくりの必要性を訴える意見があった。この問題については、警察庁がさる1月4日の6団

在庫遊技機
闇スロ流出

体代表者会議で、「射幸性の抑制に関する更なる取組」「置引き対策の取組」とともに「AT、ART機等の闇賭博流出を防止する取組」を挙げ、迅速・的確に検討できる方法・進め方の再考を強く要請していた。

「いわゆるゴト行為等への迅速な対策を講じるためのガイドライン」協定が、5月1日付けで新たに締結されることが報告された。この協定は、いわゆるゴト行為及び遊技機の不具合等の発生に対して、関係者が迅速に有効な対策を講じることができるようにするために締結される。有効期間1年で、06年から毎年締結している。今回締結するのは、日工組、日電協、全日遊連、全商協、回胴遊商、自工会、電遊協、日遊協の8団体とこれらの団体に加盟していない製造業者十数社となる。

中古機流通協議会 倒産対策など検討へ

第93回中古機流通協議会（委員長・伊坂重憲全日遊連副理事長）が

日遊協 ホームページ 更新情報

パチンコ&パチスロフェスタ2015 ニコニコ超会議に出展!

日本遊技関連事業協会

遊技機取組主任者講習・試験のご案内

遊技機取組主任者講習・試験の受付開始について

【平成27年4月・東京会場】合格者の発表について

【平成27年7月・東京会場】遊技機取組主任者講習・試験の受付開始について

【平成27年4月2日・東京会場・更新】合格者の発表について

【平成27年7月・札幌会場】遊技機取組主任者講習・試験の受付開始について

【平成26年度「ばちんこ産業合同説明会（リクナビLIVE2016）」開催結果

4月27日、全商協会議室で開かれ、委員、オブザーバーら37人が出席した。

奥村遊機株の破産に伴い、部品の供給が出来なくなりホールや販社に大きな影響を与えている。突然の事態で多くの関係者が困惑しているが、今後の同じような事態に対する対策を検討することになった。

3月の中古用と認定用の確認証紙発給状況が報告された。全商協

の中古用稼働実績は5万3117件（前年対比106%）、9万153台（同102%）。そのうち販売2万5825件、4万6331台で、チェーン店移動が2万7292件、4万3822台だった。認定申請は3283件、1万7814台。

回胴遊商の中古用稼働実績は2万7200件（前年対比109%）、4万6195台（同106%）。そのうち販売1万3011台、2万2668台、チェーン店移動が1万4189件、2万2527台だった。認定申請は3589台、1万3073台。

「日遊協」で検索!

21世紀会がホームページ

「安心娯楽宣言」を開設「依存」など

パチンコ・パチスロ産業21世紀会（代表・阿部恭久全日遊連理事長）は4月10日、一般向けのホームページ「安心娯楽宣言」を開設したこと

「安心娯楽宣言」一般向けホームページ

を構成団体に告知し、会員・組合員への周知を要請した。一部に準備中のページがあるため、一般への告知時期は検討中としている。

内容は、「お客様を守ります!」「子どもたちを守ります!」「地域の文化、そして未来を守ります!」「環境・ページに分かれ、各ページで「依存(のめり込み)問題の取組」を筆頭に、「子どもの車内放置事故防止」「置引きなどホール内被害の防止」「闇スロ店の撲滅」「不正行為の防止」などについて、パチンコに無関心な一般の人たちにも理解してもらえよう、わかりやすく説明

している。

さらに各団体、企業の様々な社会貢献活動を紹介、「国民の皆様にも愛される安心娯楽として発展させることを宣言いたします」と述べている。

このホームページは、21世紀会及び遊技産業活性化委員会での検討項目の1つで、全日遊連が中心になって作成した。

ホームページのURL：
<http://www.anshingoraku.link/>

インターネット広告協議会 掲載数の低迷が続く

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷、IMC株、ニフティ株)で構成)が4月22日、日遊協本部会議室で開かれ、「パチンコのチラシ」Powered by Shufool(凸版印刷)、「777@nifty」(ニフティ)のそれぞれの実績が報告された。

「Powered by Shufool」の1〜3月の掲載数は、1月1434枚、2月1368枚、3月1338枚で、2012年後半から13年夏ごろまで続いた2900〜3000枚台に比べて低迷が続いている。

警告(3月28日〜4月22日)は5件で、すべて直して再入稿された。

一方、「777@nifty」の監視レポートでは、3月の掲載店舗数は397店、NGは2件だった。

貯玉補償基金理事会

「会費免除」5店を承認 東日本大震災の被災で

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・庄司孝輝日遊協会会長)は4月8日、日遊協本部会議室で第

事業会費などについて協議した貯玉補償基金理事会



61回理事会を開き、1議案を審議した。

東日本大震災に伴う被災加盟店に対応する「事業会費の徴収免除」の件が審議され、岩手県及び福島県の5店に対して本年度中(平成27年4月〜平成28年3月)の免除を認めた。当該期間中に営業再開契約終了等となった時点で対象より除外する。

報告事項として、貯玉補償基金加盟状況、貯玉システム稼働店数などが説明された。

なお、会議の冒頭に、センタ事業者大都販売の代表取締役会長で、先に亡くなられた木原一雄氏に弔意を表すため1分間の黙祷が行われた。

東京都・関東支部役員会

「問題提起のある討議を」西村支部長が支部運営で指摘

東京都・関東支部役員会が4月22日、本部会議室で開かれ、17人が出席した。冒頭に西村拓郎支部長は「私自身に対しても不甲斐ないと反省しているのですが、全会員の3分の1を占める支部としてはスケジュール調整が主で実のある会議になっていないのではないかとリーダーシップを持った問題提起を出来るようにしたい。日遊協自

身も受け身の活動が多く、私が若い頃のような勢いを失い、小粒になった気がする」と問題提起した。

各委員からは「先手を打てない」「いろいろな団体、何処がまとめるのか」「他団体との友好を重視するあまり日遊協の独自性がない」「すべてのテンポが遅い」など反省と批判の声が出て、緊張した議論となった。西村支部長「今後、前もってテーマを決め、様々な課題の解決へ討議を深めたい」とまとめた。

支部総会、第1回支部交流研修会、セキュリティ対策部会、皇居勤労奉仕団、ボランティア隊派遣などのついて報告、協議が行われた。

堀内文隆顧問が就任

日遊協顧問に4月1日付で、堀内文隆氏(写真)が就任した。堀内氏は6月11日の第26回通常総会(社員総会)で常務理事に、7月16日の第2回定例理事会で篠原弘志氏に代わって専務理事に就任する予定となっている。堀内氏は1950

年生まれ。東大法学部卒。1974年警察庁入庁。在イスラエル日本大使館一等書記官、島根県警本部長、警察庁刑事企画課長、新潟県警本部長、内閣官房危機管理審議官、中部管区警察局長を歴任、2006年退職し、アクサ生命保険(株)顧問を勤めていた。



北島俊和氏を表彰

支部事務所長会議

北島俊和氏を表彰

支部事務所長会議が4月30日、本部会議室で開かれた。東北を除く6支部(北海道、東京都・関東、中部、近畿、中国・四国、九州)の事務所長、本部から庄司孝輝会長と事務局が出席した。

同日付で九州支部事務所長を退職した北島俊和氏が退職職員表彰を受けた。4月1日付で顧問に就任した堀内文隆氏、5月1日付で北島氏に代わって九州支部事務所長に就任する同事務所次長、大野英明氏があいさつした。日遊協及び業界の現状について、篠原弘志専務理事、伊東慎吾常務理事からそれぞれ説明があった。各支部から近況



庄司会長から表彰される九州支部の北島俊和事務所長

報告、質疑があった。

その他の出席事務所長(敬称略)藤井巖(北海道)、松尾利光(東京都・関東)、眞野年之(中部)、河村美三(近畿)、成光夫(中国・四国)

九州支部

事務所長に大野英明氏

北島俊和氏に代わり大野英明氏(写真)が5月1日、九州支部事務所長に就任した。



大野英明氏

大野氏は1954年生まれ。福岡県警自動車警ら隊筑豊地区隊長、同装備課課長補佐等を歴任した。

九州支部役員会
スケジュール調整

九州支部役員会が3月18日、博多市の福岡県遊技会館で開かれ、樋口益次郎支部長以下15人が出席した。4月9日の支部総会の役割分担、仙台共生の森第3陣の参加、などが協議され、本部委員会の報告が行われた。

会議終了後、岩見吉朗、金海龍海の両相談役も参加して懇親会がひらかれ、なごやかな意見交換が行われた。

中部支部&近畿支部合同
セキユリティー対策部会
実のある情報交換に

日遊協中部支部と近畿支部の合同セキユリティー対策部会が3月24日、名古屋市のアイリス愛知で開かれ、中部支部は山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長以下25人、近畿支部からは村田良嗣部会長ら3人が出席した。

山口支部長は「今日は情報交換をよろしくお願い致します。いま置引きが大きく課題となってきたているが、金をかけるだけではなく、知恵を出した方法で対処したい」と挨拶した。内ヶ島部会長の歓迎の言葉を受けて、村田部会長は「従来からホール目線の対策に偏っているが、この交流を通

してメーカーや販社目線などの角度も強化したい」と応えた。中部支部のゴト情報を中心に会議は進められ、討議も緊張感を持って続けられ実のある交流となった。

木原一雄氏偲ぶ会

5月18日、帝國ホテル

さる3月4日に死去した大都販売(株)代表取締役会長木原一雄氏について、同社と(株)都技研は「木原一雄を偲ぶ会」を執り行うことを決めた。日時は5月18日午前11時から午後1時、場所は帝國ホテル「孔雀の間」となっている。

会員・業界消息

●代表者変更

- ▼株式会社ジョイコシステムズ 代表取締役社長・柳漢真
- ▼3月25日
- ▼株式会社オーイズミ 代表取締役社長・大泉秀治
- ▼3月26日
- ▼株式会社竹屋 代表取締役・梁川誠市
- ▼4月9日
- ▼株式会社柏葉田中 代表取締役・能登昭彦
- ▼4月14日
- ▼株式会社京楽 代表者・河方洋、家田泰和
- ▼4月15日

警察人事

群馬県警人事(3月9日) 生活安全部長(前橋署長) 永井薫▽刑事部長(生安部長) 羽鳥信之

島根県警人事(3月9日) 刑事部長(生安部長) 石倉繁樹▽生活安全部長(益田署長) 榊原優二▽警務部参事官II 会

計課長扱(参事官II 生安企画課長扱兼刑事部参事官) 鬼村純▽生活安全部参事官II 生活安全企画課長扱兼刑事部参事官(安来署長) 岩崎拓治

長野県警人事(3月9日) 退職(生安部長) 新村邦彦▽生活安全部長(首席参事官兼生安企画課長) 須江和幸▽生活安全部首席参事官兼生活安全企画課長(諏訪署長) 山口一平

神奈川県警人事(3月11日) 生活安全部長(川崎署長) 保坂都彦▽警務部付・辞職(生安部長) 宮下則保▽警察庁(理事官兼生安総務課長) 牧

智明▽生活安全部理事官兼生活安全総務課長・生活安全特別捜査隊長扱(生保課長) 新田泰弘

和歌山県警人事(3月13日) 生活安全部長(交通部長) 丸木健嗣▽勇退(生安部長) 磯崎正三

秋田県警人事(3月13日) 生活安全部長(参事官兼首席監

察官) 齋藤勝隆▽秋田中央署長(生安部長) 齊藤良隆▽生活環境課長(鑑識課長) 佐藤利広▽退職(参事官兼生保課長) 藤原芳博

山形県警人事(3月16日) 山形署長(生安部長) 芳賀豊松▽生活安全部長(米沢署長) 原田伸也▽警察学校長(参事官兼生安企画課長) 小野弘信

中嶋治彦

▽生活安全部参事官兼生活安全企画課長(参事官兼総務企画課長) 江口隆三

岐阜県警人事(3月17日) 生活安全部長(参事官兼首席監

察官) 森泉▽交通部長(生安部長) 小山正典▽生活安全総務課長(生保課長) 富田重喜

▽生活環境課長(少年課長)

生活安全部参事官兼生活安全企画課長(参事官兼総務企画課長) 江口隆三

岐阜県警人事(3月17日) 生活安全部長(参事官兼首席監

DATA SPOT

パチンコ-5万台、パチスロ+2万台

全日遊連は4月22日、店舗数、遊技機台数の2015年3月分を発表した。店舗数は前月2月(1万613店舗)と比較して42店も減っている。1万571の店舗数は年間ペースだと昨年3月(1万858店)と比較して、この1年間で287店舗マイナスとなり、相変わらずの落ち込みとなっている。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万1308台(昨年3月274万351台)となり、一方パチスロ機はプラス2万1027台(昨年3月148万3983台)と前年を上回っているものの停滞現象が続いている。

<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	270	0
東北	593	+1
東京	613	0
関東	1770	+3
中部	572	+3
近畿	985	+5
中国	334	+4
四国	175	+4
九州	670	-2
全国計	5982	+18

(2015年3月31日現在)

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数(当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,638	13	33	135(20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486
2月	10,613	9	39	129(9)	2,690,969	1,504,884	156	4,196,009
3月	10,571	5	51	125(12)	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209